

平成 2 4 年 1 2 月 2 7 日

平成 2 4 年 第 1 2 回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

平成24年第12回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成24年12月27日（木曜日）午後2時00分～午後2時49分

2. 場 所 市役所会議棟 2階 第6・7会議室

3. 出席委員 1番 鈴木 敏彦（委員長）

2番 小 泉 美佐子

3番 土 田 豊

4番 武 石 修一郎

5番 真 如 昌 美（教育長）

4. 欠席委員 な し

5. 説明職員

学校教育部長 阿 部 晴 彦

社会教育部長 小 俣 学

学校教育部
参事兼
指導室長

石 井 卓 之

学校教育課長 田 代 雄 己

建築課長兼
教育施設担当
副参事

堂 垣 隆 志

給食課長 梶 川 義 夫

統括指導主事 岡 田 博 史

社会教育課長 村 上 敏 彰

社会教育部
副参事
（国体準備
担当）

高 橋 宏 之

中央公民館長
兼 狭 山
公民館長

中央図書館長 野 口 弘

指導主事 博 多 正 勝

6. 書 記

庶務係長 福 寫 まゆ美

主 事 谷 本 惇

○議事日程

第 1 会議録署名委員の指名

第 2 教育長諸務報告

第 3 第 8 号報告 事務の臨時代理の承認について

第 4 第 4 2 号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

第 5 その他報告事項 (1) 「いじめ防止のためのシンポジウム」の実施報告
について

(2) 第 5 9 回東大和市成人式について

(3) 東大和市ロードレース大会について

◎開会の辞

○鈴木委員長 ただいまから、平成24年第12回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○鈴木委員長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は武石委員にお願いいたします。

◎日程第2 教育長諸務報告

○鈴木委員長 日程第2、教育長諸務報告を行います。
教育長。

○真如教育長 それでは、教育長諸務報告を申し上げます。

平成24年11月29日から平成24年12月24日までの諸務報告でございます。

11月29日、木曜日、平成25年度採用予定の東大和市職員採用面接試験に出席をいたしました。本年は600人を超える受験者がいらっしやいまして、その中から最終的には二十数名の合格者を選び出すという、大変狭い中での選考、狭き門であります。

11月30日、金曜日、小学校連合音楽会を視察、あいさつをいたしました。夜は東大和市立学校校長、副校長、主幹教諭の自主研修会で講演をさせていただきました。教育長としての3つの柱についてもう一度確認をさせていただきまして、生きる力、地域との連携、強い組織力に引き続き取り組みを進めてもらいたいという話をいたしました。

それから、12月1日、土曜日、東大和市おやじの会連合会交流会に参加をいたしました。内容は、ソフトボールをしながら親善を図るという内容でありました。一中のグラウンドをお借りしまして、初めて教育委員会も参加をし、ソフトボールを楽しみました。ソフトボール参加者は各課から12人ほど参加をいただきまして実施することができました。それから、夜は懇親会がありました。昼、夜とも市長が参加されまして、保護者、PTAとも交流を図ることができました。

それから、12月4日、火曜日から12月21日、金曜日まで、平成24年第4回東大

和市議会定例会に出席をいたしました。

12月8日、土曜日、全日本空手道選手権を視察いたしました。武道が中学校で取り上げられる中で、空手については私は余り経験していませんでしたし、また見てもいませんでしたので、綾瀬市で開催された全日本空手道選手権の予選を視察してきました。

12月9日、日曜日、東大和市ロードレース大会に出席をいたしました。今年は広く市民以外にも参加を呼びかけましたところ、大変多くの方に参加をしていただきました。細かなことについてはこの後社会教育部長から報告があるかと思えます。

それから、MOA美術館東大和児童作品展表彰式に出席をいたしました。子ども達から集まったさまざまな絵に対して、市長賞、議長賞、教育長賞という賞を子ども達に渡す式典がありました。

それから、12月14日、金曜日、東京都教育委員会管理職異動ヒアリングに出席をいたしました。毎年教育長それから指導室長と一緒に来年の管理職の体制に向けて東大和市の希望をお伝えし、配慮いただきたいという、そういう会であります。東大和市が今現在成長期にあるので、できるだけ職員の願いに応えてもらえるように力説をしてまいりました。

12月22日、土曜日、中学生東京駅伝の結団式に出席をいたしました。当日雨が降って寒い中だったのですけれども、四中に各学校から選ばれた選手が集まりまして、結団式を無事終えることができました。

午後は東大和市公立小中学校PTA連合協議会の講演会に出席をいたしました。あわせて、途中からですけれども、5地区のクリスマスコンサートがハミングホールで行われておりましたので、そちらにもまいりました。夜は四小のPTAがキャンドルナイトと一中の吹奏楽の演奏会、コラボレーションでやっておりましたので、そちらにもお邪魔をいたしました。

12月24日、月曜日、創価学園の音楽祭を鑑賞いたしました。私立の学校で行われる音楽祭がどんな状況で行われるのか、大変興味を持って参加をいたしました。市長、それから教育委員長、私の3人で参加をいたしました。私立もかなり力を入れておりまして、創価学園につきましては吹奏楽ではやはり銀賞、金賞などを受賞されるというところでありました。

以上でございます。よろしくお願いします。

○鈴木委員長 教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告について、ご質疑等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第8号報告 事務の臨時代理の承認について

○鈴木委員長 日程第3、第8号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を議題に供します。

議案の朗読をお願いいたします。

(書記朗読)

○鈴木委員長 説明をお願いいたします。

教育長。

○真如教育長 ただいま議題となりました第8号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、平成24年度東大和市一般会計補正予算（第6号）であります。一般会計補正予算（第6号）は、第4回市議会定例会に第76号議案として提出され、12月4日に原案どおり可決されておりますが、前回の教育委員会定例会が開かれた時点ではまだ市長との最終予算調整が終了しておりませんでした。その結果市議会に提出する前に教育委員会定例会に付することができず、平成24年11月29日付で事務の臨時代理をさせていただきましたので、今回教育委員会定例会にご報告申し上げます、承認をお願いするものであります。概要につきまして、学校教育部関係は学校教育部長から、社会教育部関係は社会教育部長からご説明を申し上げます。以上でございます。

○鈴木委員長 学校教育部長。

○阿部学校教育部長 それでは、平成24年度東大和市一般会計補正予算（第6号）のうち、学校教育に関する概要につきまして、ご説明申し上げます。

資料の1ページをお開きください。

歳入でございますが、14款都支出金、2項都補助金、8目教育費都補助金であります。初めに、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金5万6,000円の減額であります。東京都が交付を受ける国庫補助金の減額に伴う減額であります。

次に、公立学校運動場芝生化事業補助金 1 億5,574万9,000円の減額であります。次にご説明を申し上げます補助金名に変更となったため、全額減となるものであります。

次に、緑の学び舎づくり実証実験事業補助金6,896万4,000円の増額であります。補助金の名称が変更となり、また、補助金の額がほぼ確定したため新しい名称で計上するものであります。

次に、被災児童生徒就学支援等事業補助金14万円の増額であります。東日本大震災により本市に避難している生徒分について、東京都から交付決定があったため計上するものであります。

19款諸収入、5 項雑入、1 目雑入であります。給水管破損事故に伴う水道等使用料 4 万6,000円の増額であります。小学校における工事で誤って水道管を破損してしまい、直ちに復旧はしましたが、給水栓の一部を締め忘れたため漏水がありました。損害の実費相当分を請求したため新規で計上するものであります。

続きまして、歳出でございますが、3 ページをお開きください。

10款教育費、1 項教育総務費、3 目教育指導費は366万7,000円の増額であります。4 ページの説明欄をご覧ください。事業番号 1 の就学相談事業費、8 節報償費は14万2,000円の増額であります。就学相談の申し込みの照会が多くあったため、適正な就学等の支援を検討する委員会の実施回数を増やすため委員の報酬を増額するものであります。

事業番号 6 の学校安全ボランティア事業費はスクールガードにかかわるもので、8 万7,000円の減額であります。11節需用費は消耗品費 1 万3,000円の減額であります。

次の12節役務費は講習会の講師派遣手数料 2 万9,000円の減額、保険料 4 万5,000円の減額であります。

事業番号11の教育指導管理事務費、7 節賃金は361万2,000円の増額であります。学校教材等を点検・確認・整備するため、学校環境を整備する支援員として各学校に 1 人の臨時職員を配置するものであります。

なお、東京都の緊急雇用創出事業に該当し、全額東京都から補助金を受けるものであります。

5 ページをお開きください。

2 項小学校費、1 目学校管理費は8,347万8,000円の減額であります。6 ページ

の説明欄をご覧ください。事業番号1の小学校運営費は104万7,000円の増額であります。冬の時期の暖房に伴う燃料費に不足が見込まれるため増額するものであります。

事業番号2の小学校環境整備事業費は第八小学校校庭の芝生化にかかわるもので、8,452万5,000円の減額であります。

15節工事請負費8,231万1,000円の減額は、工事の計画規模を縮小したほか、契約差金が生じたことに伴い減額するものであります。

18節備品購入費221万4,000円の減額は、備品の数を見直ししたほか、契約差金が生じたことに伴い減額するものであります。

次に、3項中学校費、1目学校管理費は150万円の増額であります。事業番号2の中学校環境整備事業費も同額であります。15節工事請負費は中学校建築・消防設備等改修工事費の増額で同額であります。これは第五中学校の消防施設の一部が修理に必要な部品が既になく、修理ができないため、交換せざるを得なくなりました。予算が不足するために増額するものであります。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○鈴木委員長 社会教育部長。

○小俣社会教育部長 続きまして、社会教育部のご説明をさせていただきます。

歳出であります。8ページをお開きいただきたいと思います。

10款教育費、5項保健体育費、1目保健体育総務費、事業番号6スポーツ祭東京2013運営事業費、11節需用費202万9,000円は消耗品費の増額であります。これは、東京都市長会のスポーツ祭東京2013開催及び2020年オリンピック・パラリンピック東京招致気運醸成事業助成金を活用いたしまして、市民に対します国体のPRを目的に、のぼり旗やボールペン、缶バッジなどの配布物を作成するものであります。

以上でございます。1件でございます。よろしくお願いいたします。

○鈴木委員長 説明が終わりました。ご質疑があればご発言をお願いいたします。

小泉委員。

○小泉委員 先ほどご説明いただきましてありがとうございます。4ページのところで1点お尋ねいたします。就学相談事業費がプラスになっておりまして、就学相談の増加によるというご説明だったと思うのですが、就学相談が増加しているということで、次年度の特別支援クラスとか、何か変動がありますでしょうか。

少し詳しくお知らせください。

○鈴木委員長 学校教育課長。

○田代学校教育課長 この就学相談の数の増加ですけれども、今回当初予算では13回の予定を組んでいたところでございます。1回当たりの審議に当たりましては、お医者さんの見られる数もありますので、最大でも5人のお子さんを見ることができるということになっております。ところが申し込み状況を把握したところ、あと3回ぐらいの増が必要だということで、今回医師の報酬ということですが、14万2,000円の増額をさせていただいたところでございます。

また、学級数の増加の見込みですが、現在いるお子さんが卒業してまた新しい児童が入ってくる、そういう変動がありますので、今の段階では明確な数まで私のほうではつかんでいるところではございません。もう少し時間が経つことによって把握できると思っております。

以上でございます。

○鈴木委員長 学校教育部長。

○阿部学校教育部長 現時点では学級数の正確な見込みというのはとられないというのが現状でございます。ただし、特別支援を必要とする児童・生徒は、東大和市に限らず増加の傾向にあるということがございます。東大和市の実施計画におきましてもこの10月に策定いたしました、26年度に小学校、中学校の、それぞれ特別支援学級を新たに設置する、そういう計画が通りましたので、来年度から開設に向けた準備の事業費を予算要求をしている段階でございます。

以上でございます。

○鈴木委員長 ほかにありませんか。

私から学校教育部関係について、2点お願いします。

1点目は、2ページの被災児童生徒就学支援に関することですが、何人ぐらいの子どもが東大和市に入ってきて、今何人ぐらいいるのかということ、わかりましたら教えてください。

2点目は、4ページの学校環境整備支援員ですが、実際に各学校に配置されてどんな仕事をどれくらいの期間やっているのか。わかりましたら教えてください。

2点です。

学校教育課長。

○田代学校教育課長 入ってきた人数ですけれども、今手元に資料がございませんで、はっきりわからないところでございます。ただ、今回の歳入に当たりました対象者のお子さんは中学生がお一人ということになっておりまして、被災されているお子さんで、就学援助を受けているお子さんに対しましては国が10分の10見るというような流れになっておりまして、その関係の補助金の歳入ということになっております。

以上でございます。

○鈴木委員長 指導室長。

○石井学校教育部参事兼指導室長 今回学校環境整備支援員でございますが、これから1月に配置をいたします。1月、2月の2箇月間というところで配置をいたしますが、前回も緊急雇用ということで、例えば学校においては植栽の整備とか、それからまた年度末ですので、各倉庫とか、いろいろなところに環境整備が必要な点がありますので、そのような活動をしていく予定でございます。

以上です。

○鈴木委員長 ほかにありませんか。

質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第3、第8号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木委員長 ご異議なしと認め、第8号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認と決めます。

◎日程第4 第42号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

○鈴木委員長 日程第4、第42号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、本件を議題に供します。

議案の朗読をお願いいたします。

(書記朗読)

○鈴木委員長 説明をお願いいたします。

教育長。

○真如教育長 ただいま議題となりました第42号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱についてにつきまして、提案理由並びに内容についてご説明申し上げます。

本件は、第九小学校保護者連絡会前会長が転出されたことに伴う新たな委員の委嘱についてであります。新たな委員につきましては、東大和市学校給食センター運営委員会規則第4条第1項第8号に基づき、会長代行である副会長の石渡弘美氏に委嘱を行うものであります。任期でございますが、東大和市学校給食センター運営委員会規則第4条第3項の規定により、平成25年1月1日から会長代行の職にある間であります。石渡氏の住所等は議案書のとおりであります。

以上であります。よろしくお願いいたします。

○鈴木委員長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第4、第42号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木委員長 ご異議なしと認め、第42号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、本件を承認と決めます。

◎日程第5 その他報告事項

○鈴木委員長 日程第5、その他報告事項を行います。

報告事項1「いじめ防止のためのシンポジウム」の実施報告について、本件の報告をお願いいたします。

統括指導主事。

○岡田統括指導主事 それでは、いじめ防止のためのシンポジウムの報告をさせていただきますと思います。

本日お配りしております資料その他報告(1)をご覧ください。

こちらの資料につきましては、このシンポジウムを開催いたしましたときにとりましたアンケートの集計結果を載せてあるものでございます。去る11月24日、

土曜日、夕方の5時30分から夜7時30分まで2時間にわたりましてこのシンポジウムを開催いたしました。中央公民館ホールで、参加者数総勢で202人ということで、尾崎市長を初め、市議会議長、副市長、そして市議会議員の皆様方をご来賓としてお迎えしまして、盛大にシンポジウムを開催することができました。

このシンポジウムは、大きく分けまして2部構成をとりました。第1部では、中学校生徒による発表ということでございまして、初めに第一中学校の吹奏楽部の生徒の皆さんの演奏を市民の方々に聞いていただきました。この吹奏楽部の演奏は、中学生の頑張っている姿をぜひ市民の方々に見ていただきたいという思いで聞いていただくことになりました。

そして、その後に、生徒会の連合生徒会会議の代表の生徒、今回は第三中学校の生徒会役員の生徒に来ていただいて、そこで意見発表をしていただきました。内容は、連合生徒会会議、この連合生徒会会議と申しますのは、第一中学校から第五中学校の生徒会の役員の生徒が一堂に会して、さまざまな生徒会の活動、また学校での行事などを話し合う、そういう会議でございます。その会議で今回のいじめ問題について話し合ったことをこのシンポジウムの意見発表で代表の生徒に話をさせていただきました。その中では、各学校でのいじめの問題に対する取り組み、例えばこれからお助けボックスを生徒会で学校の中に置いて、いじめを見ている人がだれかに報告をしたほうがいいのだというような、そういう強い意見からそういうものを置いたほうがいいというような発表もあったり、自分はこれから勇気を出していじめと闘っていきたいというような、そういう強い意見も生徒から出ておりました。

そして、大きく分けた2つ目の第2部でございしますが、こちらは講演とパネルディスカッションを行いました。講演では、本市の職員でもあります玉聞伸啓氏にご講演をいただきました。玉聞氏には、いじめる側が100%悪いというようなテーマで、いじめの仕組みであったり、またはいじめの対応策について、お話をいただきました。

そして、パネルディスカッションでは、講演いただきました玉聞氏、そして、真如教育長、そして保護者代表としてPTA連合協議会の木下会長、学校代表として第四中学校の佐々木校長先生、そして生徒を代表として先ほどお話しいたしました中学生の代表の発表していただきました三中の生徒会の役員2人を壇上にてパネルディスカッションしていただきまして、社会全体でいじめを許さない環

境をつくるためにというようなテーマで、それぞれの立場で今後の対応策や予防策について話し合いをすることができました。

その会の感想が今お手元にある資料に載っております。これは主な意見、感想でございます。多くの方々に感想、意見をいただきました。全部で62枚のアンケートを回収することができました。大変好意的な意見をたくさんいただいております。教育委員会事務局としまして、来年度以降も生徒会での話し合いは続けていくように、連合生徒会会議の中でも進めていきたいというふうに思っておりますし、またこのようなシンポジウムのような会を今後も開いていけるよう検討していきたいと考えております。

報告は以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

○鈴木委員長 小泉委員。

○小泉委員 とても深刻な命にかかわるようないじめ問題が起きているときに、東大和市では即動いていただき、このようなシンポジウムもやっていただいたことは、本当に的確な判断で対応していただけたと思って、とてもありがたく思っております。先ほどのご報告の中では、今後もこのような会を持てるように検討していきたいというお言葉もいただきましたので、ぜひ続けてやっていただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

○鈴木委員長 統括指導主事。

○岡田統括指導主事 実は3学期にも、連合生徒会会議というものが学期に一回ずつありまして、前回2学期に行われた連合生徒会会議の報告をシンポジウムの中で生徒にしていただきました。これから3学期にもう一度連合生徒会会議があります。その中でもまたいじめ問題、そして各学校で取り組んでいる生徒会が中心となっていること、そのようなものをもう一度話し合いを持ちまして、子ども達の意見をしっかりと取り入れて、また教育委員会事務局としても検討していく材料というふうにしていきたいと考えております。また来年度以降もこのような会議をぜひ検討していきたいと思っております。

以上です。

○鈴木委員長 ほかにありませんか。

小泉委員。

○小泉委員 ありがとうございます。生徒会が中心になって横の連携をつくって取り組んでいただいているということで、とても力強く思いました。恐れ入ります、ちょっと前に戻りますが、教育長さんの先ほどの諸務報告の中で、12月1日東大和市おやじの会連合会にご参加くださったということですが、父親の姿がこのようにしっかりと見えてきたということで、とてもうれしく思っておりますが、こういういじめ等に関する父親の姿勢といいますか、意識といいますか、そのようなもので教育長さんが何かお感じになったようなことがございましたら、お聞かせください。

○鈴木委員長 教育長。

○真如教育長 おやじの会との交流会が終わった後の懇親会の中では、学校はもっともっと地域の学校だという意識を学校も地域も持って、その上で地域の学校を盛り立てていくということが必要だという話や、母親だけでなく、父親もできるだけ時間をつくって学校に遠慮なく入って行って、学校教育にお手伝いをしていく必要があるだろうというような話が出ました。また、おやじの会がすべての学校にあるわけではないので、今後もおやじの会のない学校に対しては話をしながら、また、こういう交流の機会に参加してもらい、この輪を広めて行って、学校のさまざまな問題がなくなるように協力していきたいといった前向きな話をさせていただきました。四小でキャンドルナイトがあったときも、あれもやはり学校の子ども達のために何かできないかということで、父母と一緒に、随分時間と努力も積み重ねてすばらしい会を開けたのではないかなというように思います。また、吹奏楽がそのとき大変すばらしかったです。その日一日いろいろなところを回ってきましたが、5校ある中学校で一中と二中と三中と五中はハミングホールや学校などいろいろなところで演奏していました。学校が地域に出ていこうとしている姿が見られ、そのような様子を見ると、東大和市もこれから将来期待を持てるなという気がして帰ってきました。

以上でございます。

○鈴木委員長 ほかはありませんか。

私から感想を。

今日のプリントの裏面の一番上にも意見・感想の一つに出ておりますけれども、私も教育長がパネラーになって発言してくれたことはとても教育委員会の立場や

意向が鮮明にあらわれたと思って大変良かったと思いました。

それから、こういうシンポジウムを開いてくれると、市民の意識や関心が高まるので、学校教育に対する理解が深まるので、非常に良い事業だと思います。

それから、最初に第一中学校の吹奏楽の演奏を入れていただきましたけれども、これは一中の吹奏楽のPRにももちろんなったし、また、子どもが市内でシンポジウムで演奏してくれたということは吹奏楽部の子ども達にも非常に自信がついた、このように思いました。

吹奏楽部の子ども達もその後のシンポジウムの話の成り行きを非常に熱心に、食い入るようにして聞いている。だから、子どもにとってとても関心が高いというのを改めて感じました。

それから、各学校の中学生、生徒会の役員の子どもさんが来ていたわけですが、ある男の子は話をメモをとりながら聞いている子がいました。だから、素晴らしいことだと思いましたし、非常に深刻な内容の話し合いの会であった、良い会をタイムリーにやってくれたと、改めてその姿を見て私は思いました。

一つ注文をつけたいと思いますけれども、こういう会を市民にもPRして大勢集まっていたいてやっているのですから、忙しいかもしれないけれども、各学校の校長、副校長、生活指導主任ぐらいは出てきていただいて、話を聞いて、子どもや市民の考えや意向や反応を見ていただくと、もっともっと効果的になるのではないかなと思いました。忙しい先生方に申し訳ないですが、そのことは市民の方も恐らくそういう意向だと思います。参加した市民の方も、うちの学校の先生方はだれが出ているだろうというのを一番先に気にするわけですから、その辺また開催するときには工夫をしていただいて、より効果的な方法を考えていただきたいと思いました。

私の感想は以上です。

統括指導主事。

○岡田統括指導主事　ありがとうございました。各小中学校の管理職の先生また生活指導の担当の先生、そのほか大勢の教員にも聞いていただきたい会であったことは確かだと思います。今後は来年度以降委員長がお話しされておりました参加の仕方、少し工夫をいたしまして、市民の方にも、それから保護者の方にも、そして先生方にも参加していただける、そういう会を今検討しておりますので、またそういう会ができるように努力してまいりたいと思いますので、どうぞよろし

くお願いいたします。

以上です。

○鈴木委員長 学校の管理職や先生方が大勢集まっていたけるとしたら、それだけで熱意が伝わるのです、市民や保護者に対して。そういう形からもそういうところを示してもらいたいと感じましたので言わせていただきました。

質疑を終了いたします。

報告事項 2、第59回東大和市成人式について、本件の報告をお願いいたします。
社会教育課長。

○村上社会教育課長 それでは、私からは、第59回東大和市成人式について、ご説明をさせていただきます。

先般教育委員の皆様には成人式へのご臨席のご案内をさせていただいたところでございますが、第59回東大和市成人式につきましては、平成25年1月14日の成人の日にハミングホールで実施を予定してございます。お時間につきましては、式典が午後1時から、その後新成人6人で企画をいたしました実行委員会の催し物を午後1時半から予定してございます。催し物につきましては、恩師からのメッセージの披露や思い出の映像、さらに抽せん会を予定してございます。また、例年行っておりますペットボトルのキャップを回収し、その売却費用で世界の子ども達にワクチンを届ける、いわゆるエコキャップ運動の取り組みも行います。今回の成人式につきましては811人の市内在住の新成人の方、及び市外に転出をされましたが、ご本人のご希望により当市への成人式の出席を希望された15人、合計826人の方にご案内を出させていただきました。教育委員の皆様にもぜひご臨席を賜り、新成人の新たな第一歩を祝福していただきたいと存じます。

以上でございます。

○鈴木委員長 ほかに報告事項はありますか。

社会教育部長。

○小俣社会教育部長 日程にはございませんけれども、12月9日に行われましたロードレース大会につきまして、ご報告申し上げます。

当日は、委員長を初め教育委員の皆様にもおいでいただきまして、ありがとうございました。非常に寒かったですけれども、天気は非常によく、ランナーの皆さんにはちょうどよかった、そんな印象であります。申込者687人のうち、出走者は630人でありました。この結果でございますけれども、今回から計測チップ

を使いまして掲示をいたしました。その関係もありまして、今回から有料とさせていただきましてけれども、そのことも加えまして、今回出走率が91.7%ということで、前回の5%増ということで、非常に出走率は高まりました。また、当日途中から記録証が出ないという、そういうハプニングがございましたけれども、それ以外につきましては、けがもなく、スムーズに終了することができたというふうに思っております。

簡単でございますが、報告にかえさせていただきます。以上です。

○鈴木委員長 ほかにありますか。

今部長から報告があったロードレース大会ですけれども、一覽を今日持ってきたのですけれども、驚いたところがあるのです。非常に他県や他市の小中学生が大勢参加していい成績をおさめてくれました。大変盛り上がり、チップの導入によって正確な記録が出るから信頼度が高くなって参加したのかどうか、こんなに大勢の他市の高校生が出たりしたことはなかったように私は受けとめていたので、非常に盛大になってきて良かったと思いました。今後が楽しみです。

社会教育部長。

○小俣社会教育部長 今委員長からお話ございましたとおり、今回から市外の方の出走も可能ということで、これまでの市内在住、在勤、在学の枠を取り払いまして市外の方の出走も可能になったところでございます。それにはほかにもさまざまな理由がございまして、東大和南公園を借りる場合に東大和市だけの市民の利用ということになりますと昨年度ですが、東京都から使用料を求められていました。それも見直しまして、市外の方もどうぞということで、東京都からの後援をいただきました。そのことによって使用料も、13万円弱ですが、支払いがなくなったこともあるのですけれども、これまで以上に市外の方に走っていただくことで、東大和市のこれまで走っていた方にとってもより活性するといいますか、記録もどんどん伸びていくのではないかとというふうに期待もしているところでございます。次回に向けてもさまざまな新しい取り組みなど入れていければいいというふうに考えておりますので、教育委員の皆様にも何かとお力添えをお願いしたいというふうに思います。

以上です。

○鈴木委員長 土田委員。

○土田委員 計測チップを使用したということで有料にしたとおっしゃったが、中

学生、高校生はできるだけ料金なしということで参加してもらったかどうか。それがどのくらいのお金になるのか知りませんが、前に多摩湖駅伝のときも申し上げましたが、市内に協賛者を募って、そしてそのくらいの費用は十分賄えるというようなことになればいいと思います。

○鈴木委員長 社会教育部長。

○小俣社会教育部長 ただいま土田委員からお話をいただきましたけれども、今回は東大和市の教育委員会でやっているわけですが、多摩湖駅伝のように実行委員会の運営によりますれば協賛の考え方も可能になってまいります。既にそういう話も実はありまして、今後そういう実行委員会方式ということもあわせて考えていきたいと思っております。今回有料に至りましたのも、今まで無料でしたから、有料にすることで非常に参加者が減るのではないかという心配もありましたけれども、市外にも枠を広げたりする中でほとんど出走者の人数は変わらなかったということもあります。しかしながら、小中学生が300円、高校生以上が1,000円ということで参加料をいただきました。やはり無料がよろしいですけれども、多摩湖駅伝同様費用を求めさせていただいたという経過がございまして、今後はそういう実行委員会による運営、そういうものも考慮しながら、来年度に向けていろいろ考えていきたい、そのように考えております。

以上です。

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

◎閉会の辞

○鈴木委員長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程はすべて終了いたしました。

これをもって、平成24年第12回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 2時49分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育局委員会委員長 鈴木 敏彦

会 議 録 署 名 委 員 武石 修一郎